

第9回市民ふれあいトークー茶屋町地区の個性と魅力を伸ばすにはー

日時 平成21年10月27日 18:30~20:00

場所 茶屋町公民館

《市長挨拶》

皆さん、こんばんは。今日は茶屋町の市民ふれあいトークに、夕方・ご飯時の忙しいときに大変多くの皆さんに参加していただきありがとうございます。

今日は茶屋町地区の個性と魅力を伸ばすにはということ、皆さんから自分の地区のどういうところがいい、もしくはもっと改良したほうがいい、こういう点をもっとPRしたら地区が良くなるんじゃないかという話を伺いたいと思っております。

まず私の茶屋町の印象についてお話をさせていただきたいと思えます。茶屋町は、児島湾が干拓をされて、1707年から約300年ちょっと経ったということで、非常に歴史のある地区だと思っております。

私は倉敷市に来まして、最初になぜ茶屋町は「茶屋町」という名前なのかと思い、調べてみましたところ、もともとこの地区は船が行き来をしていて、船頭さんのためや、児島・金毘羅参りの街道沿いだったために茶屋が多かったので、茶屋町という名前になったと伺っております。正式名称は確か「江島」だったと伺っておりますが、近代になって茶屋町になったということで、皆さんの中で1番しっくりくる名前だったのかなと思っております。

近年になり、い草・綿花などの発達とともに、丸五工業さん、セイショクさんなどの繊維関係の産業が非常に発達をし、またご存知のとおり偉大な芸術家磯崎眠亀さんが茶屋町から誕生して、眠亀の記念館があり非常に大きな特色の1つになっていると思っております。

私が皆さんに教えていただきたいと思っているのは、鬼で有名な茶屋町ですけれど、どこから鬼が有名になったのかということです。私の中で非常にPRできる部分ではないかと思っております。

また、地域の繋がりが強い地区だということも印象にあります。コミュニティー協議会さんをはじめ、昨年倉敷市の防災訓練をした時に、地域の中での結束力が硬くて、素晴らしい町だと思えました。

もう1つが、最近人口が増えてきている地区ということです。年間でも10%以上人口が増加していて、倉敷市だけでなく岡山市の間としても大きなベッドタウンになっている地区であり、倉敷市の大きな交通の要所、宇野線、瀬戸大橋線など、岡山県内の大きな交通の要所でもある多くの特色を持ったまちだと思っております。

茶屋町に住んでいらっしゃる皆さん、そして他の地区の方が茶屋町のことを見て、どう思われているのか、皆さまからお話をお伺いできればと思っております。是非皆さまから、何でも結構ですので、茶屋町に対して思っていることについてご発表、ご意見などいただければと思います。よろしくお願いいたします。

《参加者① Aさん》

茶屋町地区の人口増加率について、市内でも増加率はNo.1 だと思いますが、新築ラッシュが毎日のようにあちこちで見られます。現在の茶屋町地区は、住宅地として今後も進められるのか、他に何かプランがございますか、市としてはこういうことをして進めていきたいなど、何か案がございますか。

《市長》

倉敷市の総合計画の中には、茶屋町の地区は非常に田んぼも多く、田園がのどかに広がって住みやすい町という位置づけになっていると思います。言われたように人口増加率が10～15%ぐらいになってきているので、個人的思いとしては、農業は大切なので、今のよう中心としてやっていただく方が多ければありがたいと思っています。ただ、場所が非常にいいということで、家も増えてきて倉敷市でも来年度に保育園を1つ新しく増設をしようと思っているという地区ですので、のどかな田園と素晴らしい住宅地が両立していけばいいと思っているんですが、いかがでしょう。

《参加者① Aさん》

分かりました。両立。住宅地として今後続けるのであれば、裏のほうに入ったら道路も狭いんです。それで道路とか公園とかもこれから必要になると思いますよね。このままいけば学校の増設も、小中学校、高校も必要になってくるのではと思われます。

また、規制なしで家ができすぎるのも…。ある程度市のほうがこれぐらいまでは増やしてもいいけど、これぐらいはもうというようなことを。素朴な茶屋町として残してもらいたいと思っていますが、それについてどういう案があるか。

それと、新築の家で生垣に松の木を植えたり、緑を作っている家がありますが、これからももっと街を美化するには、新築時に庭を綺麗にする方に少し手当てを。

《市長》

ありがとうございます。人口が増加している地域は発展している地域というわけなので、今後道路、公園、学校についてもそれぞれ充実をしていく必要があると思います。道路が水路と相まって非常に狭くなっていると思います。ただ水路は農家に必要なものなので、そのあたりは難しいところもあるんですが、私の考えでは人が多く住まれる地域については、整備が必要な場所だと思っていますので、これまで以上に整備していきたいと思っています。

農業の振興と宅地の増加をどうやって調和させるかというのは、難しい問題ですが、農業地域の解除などについても、どんどん解除してもいいというのは今の農業委員会では非常に難しいということがあります。農業、田んぼの保護、個人財産との調和という点もありまして、難しい問題なんですけれども、私もおっしゃるように、宅地が無秩序に多くなっていくことについては、どうかしらと思っています。

緑への補助については、倉敷市の緑化基金というものがあまして、庭の補助というところまでは考えていませんでしたが、生垣への補助を現在しています。田んぼの緑とは違いますが、倉敷市はこれから地球温暖化対策ということもあり、太陽光発電などの環境に力を入れています。先日も倉敷市緑の推進員、グリーンメイトさん募集ということで、朝顔やゴーヤを家へ植えてくださる方に優先的に種を配布するということをしています。今のところは太陽光発電を進めたいと思っているんですが、今日参加くださっている方の中で太陽光発電の設備が家にある方……2人いらっしゃいました。まだまだ少ないと思いますが、太陽光発電、緑化のことには力を入れていきたいと思っています。

《参加者② Bさん》

遊園地の遊具が危険ということで、撤去はできないんですか。そうすれば、それだけ広く使えると思います。市へ言ったこともあるんですが、そうしたら1番にお金がないと言われるんです。

《市長》

遊具については、子供さんが遊具に挟まって亡くなったということで、その時以来危険箇所をチェックして古くなっているものについては使えないようにぐるぐる巻きにしているところが多いと思います。おっしゃるように撤去すれば、遊ぶ場所が増えますよね。ただ現状のところは、お金がまだまだ無いので撤去するにしても、何十万ぐらいは掛かると思うんです。それで撤去をしていないのだと思いますが、少しずつでも撤去ができるように。今、全部使用禁止になっているんですか。

《参加者② Bさん》

全部ではないんです。第一公園です。4台ぐらいの自転車みたいなので、くるくる回るのが動かなくなっている。

《市長》

各種遊具はあると思うんですが、確かに遊ぶことが中心になっているものは、撤去をすることに問題ないと思いますが、地区によっては使えなくなったものは他のものと入れ替える地区もあるので、そういった関係もあるかもしれないんですが、使えない場合には、撤去して地面にしたほうがいいですよ。すぐにできるかどうか分かりませんが、少しずつでも使えないものは撤去して、地面にするなり芝生を張るなりしたほうがいいと思います。

《参加者② Bさん》

桜並木の間にもう少し腰を掛けるベンチを増やしてもらったらいいと思います。桜が咲く時分になったら、年配者の人も歩かれるんです。私の知人も腰掛けるところが無いから、ガードレールにもたれて休んでいるんです。支所に言ったんですがお金がないと。ベンチぐらいでしたら、莫大なお金ではないと思いますが。

《市長》

今、市・支所の工事のお金の多くが、市の公共施設の老朽化への維持管理に充てることが多いんです。新しいところまで手が回らないのが現状ですけど、少しずつできればいいと思いますが、桜のベンチは検討してみます。すぐできるか分かりませんが、道の規制がいくつかありまして、もしかしたらだめな道かもしれないんですが、ちょっと調べてみます。

《参加者② Bさん》

それと茶屋町のことじゃないですが、桜橋の工事をしていますが、あの道はいつごろ完成して、どこへつながるんですか。

ここらへんでも見るんですが、みんな尻切れトンボみたいになっていますよね。1つ道路ができてから、次の道路を作るように。ダムみたいにはならないように…。

《市長》

ダムみたいにはならないと思います。あれは、県の道で市もお金を出していますので、市から県に言って「止めないで、ちゃんとやりましょう」と。土地の所有者の方の協力が大事ですが、あの道は必ず必要だと思っているので、県にもしっかり言いますし、市としてもしっかり支援していきたいと思っています。

《参加者② Bさん》

早島から茶屋町の高橋の道路は県道でしょ。朝夕の車が多いんです。あそこへ信号をつけるように要望してるんですが、なかなかつかないんです。

《市長》

県もお金が、市以上がないのでなかなか進まないのかもしれないんですが、道や橋は一旦決定したものは少し進捗が遅くなくても徐々にでもやっていくのが、これまでの県の方針なのでそうなればいいと思うんですが、ちょっと桜橋と高橋あたりの県の状況について詳しくないので、調べます。

《参加者③ Cさん》

私が言いますのは、昔の繁栄した町のことで。茶屋町は今セイシヨクさんが工場を倒して更地になっているんです。セイシヨクさんの考えは茶屋町のために役に立つようにということですが、セイシヨクの面積が町の3分の1を占めています。それが全部更地になって、茶屋町のためになるということですから、その推進について市とよくお話ができたらと思っております。

それにつきまして、アクセスの道路です。県道がぐるっと回っていますので、市と県との話し合いをしっかりと頂かないと茶屋町の道路へのアクセスは思うようにならないんじゃないかと思います。道路が、アクセスができないとセイシヨクさんがいくら頑張っても、ならないんじゃないかと思います。県とセイシヨクさんとの話し合いが少しでも出来て、茶屋町がまとまった形になっていくようにと思っております。

もう一件は、コーポやアパートの方たちは町内会にあまり関心がないのか、参加してくれない。自主防衛組織を立ち上げたときに、もしも事故があったときにアパートの人だけ協力しないわけにはいかないと、みんな仲良くしないとイケないと、町内会をあげてアパートやそういう人に少しでも町内会に参加して欲しいという運動をしています。新しくアパートへ来られるとか、新築の家を建てて来られる方っていうのは、必ず住民登録を窓口でされると思うんです。そこの連携がうまくいったらもっと地域の働きが出来るんじゃないかと思っております。

《市長》

まず道路のお話ですけど、茶屋町は県道と市道の大きな道になっているので、この連携はかせないと思います。県が非常に財政難になってきていますので、その分市が県のかわりにつくるというのでもできないですが、住民の皆さんにご迷惑の掛からないような道路の進捗の仕方を。確かにあっちもこっちも少しずつ進んでというのは、よくないと思います。市の関係の道路であれば少し融通をしていくことがですが、県と市の道路の連携というのは非常に重要だと思えました。

それからセイシヨクさんと土地のことですけど、セイシヨクさんは今の土地をどこかへ手放しされるということですか。

《参加者③ Cさん》

手放しはないと思うんですが、工場は全部撤去になったということです。映画にもなった一部の事務所を残して全部更地にしています。観光面や町の歴史を考えていらっしゃると思います。そういうことで全部更地になりますと私有地ですから事情があると思いますが、茶屋町大半を占めていますし、まちづくりのために話が出来て、いいようになったらいいと思います。

《市長》

セイショクさんの跡地がどうなるかあまり伺ってないんですが、今日教えていただいたので、お考え方を聞いてみたいと思います。

町内会への加入は、住民票を出しに来てくださったときに、町内会の入会の申込書を渡すわけにもいかないですが、私は非常に町内会、地域のコミュニティー協議会は大切だと思っています。公民館・市の公的な施設に推進するようなものを置かしていただいたりなどを今はしていないでしょうか。

《参加者③ Cさん》

窓口で町内会についての質問があると思います。そこで、「私たちとはまったく関係ない」と言わずに、町内会についてはこうゆうところで聞いてくださいぐらいのことは言っただけならと思います。町内会とは別のものですよと言われてたら、聞いた住民もどうしていいかわからないという状態ではないかと思います。

《市長》

地域のことで何か困ったこととか聞かれないことがあったら、今度越してこられた所はこうゆう町内会がありますとか、コミュニティー協議会が茶屋町にはありますから、そういうところへ聞かれたらいかがですかなど言ったらどうかということですよ。

自主防災組織のこともあるので、そういうことができればいいと思います。ただなかなか町内会へ加入してくださいと市からは言い難いものがありますので、聞かれた時に、紹介だけでもできればいいと思いました。

《参加者③ 佐藤さんA》

町内会としましては、絶対に町内会に入るのではなくて、自主防衛組織もあるから協力していただければということです。

《市長》

分かりました。今の住民受付などでどのぐらいそういうことが聞かれることがあるのかを調べてみたいと思います。

《参加者④ Dさん》

支所では町内会と関係ないという認識をお持ちかも知れないですが、支所には町内会とその町内会長それから町内会の組合がどういうふうに組織されていくか、そしてその組合の中の人数4,500人ぐらいの名簿が各町内から提出されているはずなんです。

ですから、そういう物によってこういう組織になっていますよ、町内会長さんは〇〇さんですよなど、言っただくことはできるんじゃないかと思います。

《市長》

ありがとうございました。市の中での担当の部署が住民票は市民課が、町内会は市民活動推進課がしています。もっと連携をとってもらおうように言おうと思います。

《参加者⑤ Eさん》

若い世代のお母さん達が集まる場がこの辺にはありません。親子クラブがあるんですけど、100名以上の会員登録があります。子供が100名としたら親も100名になるので、公民館を使わせていただく場合も、一同が集まり例会する場所としては狭いですので、小さい組と大きい組に分けて例会をしたりしています。それ以外にも公園で遊べればいんです

が、今公園も必ずしも安全じゃないという時代になってきていますし、山の向こう側の倉敷児童館は、車に乗れない方は乗り合わせて山の向こうまで行くという手段をとるので、普段パッと毎日のように使える児童館が茶屋町に出来て欲しいと前から思っています。それがあれば、越してきた方も新しい知り合いを作っていけますし、色んな情報交換が出来ると思います。茶屋町公民館の外に老人のための憩いの家というのがあるんですけど、それがあつたら子どものための憩いの家みたいなものも欲しいと思います。

倉敷児童館も需要があると思うんですが、建物自体も長いこと使って老朽化されていると思うので、マイホームを建てて住まれる人が多いということは、永住する人が多いということですし、子供たちも将来税金を払っていく人になると思うので、是非とも子育て支援の政策に力を入れていただきたいなと思っています。

それに関しまして、毎日小学校や幼稚園に送り迎えする中で、危ないなと思うところが結構あります。茶屋町駅の正面の鬼の銅像から旧街道の辺と曾根は、道路も狭く用水路もあります。そこを岡山児島線の方から車や自転車で岡山市内に通勤、通学する人が非常に多く、朝 7 時半頃に通勤ラッシュと子供たちの通学時間が重なり非常に危ないです。子供は用水路側でない左側を通行していると車はその横をビューンと走っていくので、用水路を埋め立てるのは無理にしても、せめてフェンスを前面につけていただく、あそこに 1 m ぐらいの通学路としての道が出来るんじゃないのかなと毎日感じてます。

また、子供が通学に使うにあたって、冬場は日が暮れるのが早く、部活などで 6 時ぐらいに子供たちが帰るとき、茶屋町は田園地帯の中に出来ているので、1 歩奥にはいると街灯が非常に少ないんです。防犯上街灯が少ないのは親として心配だと町内会の役員の方にもお話しましたが、街灯があると農作被害を農家の方が心配されるということで、街灯が少ないんです、1、2 本は街灯はあると思いますと言われたんです。防犯灯というのは、農作被害を与えないようなものも最近はあるんじゃないかと思っています。ただでさえ暗いところなので、少しずつ増やしていったらと思います。

倉敷チボリ公園が無くなり、気軽に行ける公園が非常に少ないと感じています。香川のまんのう公園、兵庫県の子ども館、愛媛の新浜にある博物館など、ライフパークよりも割安で一日遊べる、学べる場所というのが倉敷市にも欲しいなと、自然史博物館がありますけど、物足りないと感じています。よろしくお祈いします。

《市長》

今、子育てするなら倉敷でということで、子育てに力を入れていこうと思っています。現在行っているものは、医療費に対する公的な補助とか妊婦検診に関する公的な補助、学校の児童クラブについて今、基本的には 3 年までだったものを 6 年まで子どもさんに入っていだけるような施設整備などを進めてきています。

通学路それから照明、子どもが集まれるような場所ということで、先ほどから色々お話をいただいているんですが、いっぺんにはできませんが、少しずつでもやっていきたいと思っています。

照明灯については、最近では LED のほうが明るいような感じがするので、今後はきつと LED の街灯なども出てきたら、最初の導入コストは高いけれども、もつ期間は随分長くて経済的でもあると聞いてますので、そういう面も勘案しながら、子どもさんと親御さん

に住みやすい町に頑張りたいと思います。いろいろ教えていただきありがとうございました。

《参加者⑥ Fさん》

倉敷音楽祭やツーデーマーチのようなものについて、もう少し茶屋町、豊洲地区周辺を巻き込んだような運営がしていただけないかと日頃思っています。

茶屋町地区ではないんですけど、図書館のことについて。東陽中学校区に図書館をということで、お話をしたいと思います。

雑誌「高梁川」の最新号の中に、大原総一郎さんの倉敷のまちづくりという中で、倉敷の図書館のことについて計画が紹介されています。大原氏のように若い頃から倉敷をモデル地方都市にして完成しようという先見性が必要だと思います。だから伊東市長にも将来を見据えてまちづくりに取り組んでほしいと思っています。

先ごろの朝日新聞によると日本における10万人あたりの図書館数は平均2.44館です。主要先進7カ国で日本は最低の数値です。トップのドイツが12.91館で、7カ国の平均が5.45館という数値を見ると日本の図書館の貧しさがよく分かります。

倉敷市の場合は、10万人あたり1.25館と全国平均とは程遠いんですが、もし平均までもっていこうとすると、現在の図書館を6館から12館に増やさないといけないんです。厳しい財政難ですが、図書館振興策というものを策定しまして、まちづくりに反映させるような仕組みを作っていただきたいということをお願いしたい。

日本図書館協会は、こういう状況に関して当面の図書館設置の目標を住民の生活圏を中学校区として、平均して中学校区に1館を実現しようとしています。

また、現在の倉敷中央図書館は市民サービスの向上ということで、市内の公民館でも貸出・返却をやっています。平成20年度の茶屋町公民館窓口の図書貸出冊数は、43,620冊、貸出人数が7,471人で他の公民館に比べて、ダントツに多いんです。2番目に多いのが庄公民館です。ただし、そもそも図書の予約や貸出、返却サービスは図書館の情報サービスのほんの一部なんです。だから、かなり格差が出ている状況です。

一方、図書館は市民の役に立つ自己変革をしているんです。ビジネス支援サービス、医療健康情報サービス、障がい者・高齢者サービスなど、明治大学から出された『現場からのルポタージュ』というDVDを見ていただくとよく分かります。

図書館は、人材を育てて町を活性化させる力があると思っていますが、従来の図書館は、戦前の図書館のイメージの影響で時間に余裕のある人が趣味の本を暇つぶしに読みに来る生活に役立たない場所という偏見を持つ人が少なくないんです。

倉敷市立図書館が、全国的に見てかなり遅れているのは、先進図書館を見れば分かります。その改善にはネットワークを充実させる必要がありますし、そのための人材が必要にもかかわらず司書の採用が十数年行われていないという現実があります。そのことについてもご配慮をいただきたいと思います。

《市長》

図書館のことについて、お話をいただきました。茶屋町が他の地区よりも図書の貸出件数が非常に多いわけは何故なのかなと思って、茶屋町公民館の1階にいった書棚を見てみ

ましたら、各種読みやすいような本がたくさんあるからなのかなと思ったのですが、数年前に比べて蔵書の数を増やしてきてますが、それ以上に貸出をしてくださる方的人数が多くなっているところに、注目しています。

図書を通じての人材、人格の形成というのは非常に大切なことだと思っておりますので、今の6館を12館にすることは難しいんですけども、方向性としては各公民館なりに市の公共的な施設での図書の活用されやすいような方策をもっと作っていききたいのと、蔵書数を増やしていききたいと方向性では思っています。図書館のネットワーク、それから茶屋町公民館の図書の貸出が多いということで、今年から1名、人を増やさせていただきまして、対応できるようにしたというのはあったんですけど、今後もしっかり力を入れたいと思います。

《参加者⑦ Gさん》

市長は子ども文庫というものをご存知でしょうか？自分の家や地域の公民館を利用して、子どもたちに本を貸し出したり読み聞かせをしたりという活動をしています。私は1981年からやっています、28年目になります。自宅を開放して毎週月曜日と第2・第4土曜日に開放していますが、子どもたちが年間トータルで400～500人、貸出冊数は4、5千冊は貸し出しております。

茶屋町からもお母様が車に乗って借りに来てくださったり、自宅でそういうこともしております。今は自宅で待てるよりは学校に赴くことが多くなりまして、今朝も市内の小学校に行きまして、お話を語ってきたんですけども、倉敷市も子ども読書推進プランということでいろいろ策定されまして、その中でも、子ども文庫は子どもたちに読書を進めたいと思います。

こういう活動をしていますと、公立・学校図書館の司書の方たちと連携して、子どもたちに本を届けたいという思いがありますが、先ほどのように公立図書館の司書の採用が何年も無いということで、私たちの先達になるような司書をぜひとも採用していただいて、途切れることのないサービスをしていただきたいと思います。司書さんというのが、一般的に言うと本の貸出だけをしていただければいいと思われてるんですけど、1人1人の子どもたちに内容があったものを選んで届けるといって、学校で言いましたら、教師のような立場でありますので、そういうベテランの方がいらっしやらないと、なかなか。

3年前に当時の古市市長に直接お願いをし、その時にこれ以上司書を減らす必要はないという約束をいただいたものですから、安心しておりましたが、どんどん減っております。目に見えて正規の職員が減っておりますので、私たちボランティアがどうしようと思ってもそういう先達になる方がいらっしやらないと、しにくいですので、よろしく願いします。

《市長》

子ども文庫の取り組みを長くやっていただいているということで、ありがとうございます。お話を伺いまして、市の公立の図書館で図書の数を増やすことも大切なんですけれど、地域で子どもさんに読み聞かせやお家を開放して下さったりという、情操教育の一環にもっと力をいただければいいなと思いました。

司書の話ですが、図書の貸出や返却が大変な部分もあると思うんですけど、貸出・返



却の場面で、子どもさんの導きや、生涯学習の一環の力になるような部分が発揮してもらええるような仕組みが出来るようになればいいなと思いました。

市の予算・人員については、厳しい中ですが人数も大切なんですけど、今いらっしゃる司書の人の力をもっと発揮してもらええるような仕組みにできないかなと思いました。

《参加者⑧ Hさん》

図書の件で、公民館の写真をとりましたので、これを見ながら説明したいと思います。週に1回700人分の予約の図書が、ケースに約10～13個ぐらい運ばれます。週に1回木曜日に入るので、木曜と金曜は特に足の踏み場もなく、玄関周りから事務所の1階までが、写真のような状態になって公民館の活動する人が大変困っています。このことをこれからこの案ということで検討していただきたいのが1点。

もう1つは、防災四季報は防災局から自治会の会長に1枚なんです。それをどんな方法で皆さん知らせようと思っても、方法は全く無いんです。各町内で回覧で回そうとすれば、各組合が200ぐらいになるので茶屋町は回覧をするのに200枚。そうすると莫大な印刷の数になると思うんです。できれば、広報に載せていただきたいなど。予算の面があるかと思えますけれど、それを各戸に知らせていただければと。大変いいことが書いてありますので、よろしくをお願いします。

《市長》

これは倉敷市防災危機管理室で年に4回発行している四季報です。これまで岡山県にどういうふうに台風がきているとか、台風の主な経路などが載ってまして、非常に有益な情報も載っていると思います。広報に丸ごと載せることは難しいと思いますが、台風の時期の前などにせっかくいいと言って下さっているんで、この中の抜粋だけでも載せられるといいと思いました。ページの制限もあるかもしれないんですけど。

《参加者⑧ Hさん》

ページの制限あるかと思うんですが、広報の中には避難をどうするかとか、何かあったらどうするかなどが今の広報にないですね。具体的なことが無いんです。

《市長》

防災と相談してみます。非常に有益だと言って頂いた事で、防災のこれまで毎年出しているものがあるとしても、それと差し替えるなど工夫が出来るんじゃないかと思いましたので。がんばってみたいと思います。

《参加者⑧ Hさん》

公民館は通路が何処にあるか分からないくらい図書が積んであります。そこへ職員総出で整理して2日間で各家庭、子どもさん、皆さんに配布していると、公民館業務は1日半くらい留守になります。できれば駐車場を2階立てにすればそこでできるんじゃないかと思えますけれど、その辺も踏まえてご検討をお願いします。

《市長》

はい。とにかく検討してみます。こんなにすごいとは私も思っていませんでした。

《参加者⑨ I さん》

簡単に2件ほど言いたいと思います。1件は最近駅前はどこだろう、向こうだろうという話がちょこちょこ出ています。以前は駅の西側は前、工場側は裏とそういった呼称が1人歩きをしていました。今の時点では西側、東側というのが大分浸透していますが、まだまだ特に年寄りの方は、駅前・駅裏と呼んでいます。

それについてのお願いを、町内会長さんにも市議会議員さんにもお話したことがあります。大分固定化していますが、ネックになっているのが駅の西側の信号機に「茶屋町駅前」という表示があることです。

この件について、支所に聞いたところなかなか容易に変更は出来ないと。カーナビの衛星の関係でその場所を茶屋町駅前と登録しているということで、なかなか難しい。「茶屋町駅前」と表示してある限り、初めて来られた人あるいは駅から来られた人はここが駅前だなどと思いますので、行政でもお力添えいただけたらよりスムーズに浸透していくと、呼称1つの問題ですがこれも地域の一体化につながるのではないかと、そういう配慮ができましたらと願います。

それからもう1つは、テレビで美観地区の川船の利用が非常に盛んだというのが出ておりました。偶然見たのですけれど、午前中の便から午後の便までかなりの数があるらしいんです。午前中の便は満席。午後の便は余裕のあるところに「1名」と出ているんです。それを見て思ったのですけれど、「残席1名」というのは、官僚的だなど。これは何処が経営しているかおおよそ検討はつくんですけど、少なくとも1000円単位の料金を取っていると思うんです。少なくとも「残席お1人」とか「1名様」という表示に。やや役人的な表示で、ただ「1名」と。乗る者は早く乗れ、無くなるぞという意識、考えを持たないとも限りませんので、よろしく願います。

《市長》

「残席1名」というのは、市で運行しています川船です。料金は1000円ではなく、設定が安かったかなと思うんですが、300円～350円なんです。安くて眺めがよくて非常にいいということで、満席なんです。朝行っても、昼前に行っても、午後夕方ぐらいにならないと空いていないということがあるみたいで、表示については、直せるかどうか検討してみます。わかりました。

今言ってくださったのは、全体的に表示の仕方のことだと思います。茶屋町駅前という呼称についてですが、茶屋町駅前の表示が呼称なのか地名なのかは分かりませんが、名前を変えるのは非常に難しいところがあると思います。ただ住民の人達が西側だけが駅前になるとちょっとおかしいんじゃないかということですよ。

《参加者⑨ I さん》

駅の裏でなしに、工場側がむしろ人口が多いのではないかと思います。それから、鬼祭りにしても私が若い頃は、たまの日曜日に参加できるかという気持ちでしたが、PTAをはじめ多くの方が参加していて、これは一体化が進んでるなと感じております。にも拘らず呼び方は駅前、駅裏と。岡山だって東口、西口と言っている、なんとか早く通称化すればいいなあという思いです。

《市長》

貴重なご意見をありがとうございました。

《参加者⑩ Jさん》

私のお願いは、先ほどの桜並木の事です。桜並木は茶屋町の住民にとって憩いの場所でございます、春は桜の花が満開になって桜祭りも催されて、非常にいい場所です。残念なことは、桜の木が老木になり、毎年何本かの木が枯れて撤去されていることです。昔のような桜の花見の通りが無くなりました。それで桜の苗木を植えていただいて、昔の茶屋町にふさわしい桜の並木にして欲しいんです。かといっていろいろ問題はあると思うんですが、茶屋町から藤戸の方を見ていただくと住宅がいっぱい建って、ほとんど田んぼはありません。藤戸の住民の話では、これ以上桜を植えると日陰になるとか、落ち葉の掃除が大変だという話も聞いたことがありますし、農地の人の話も、桜の木がどんどん大きくなると、田んぼが日陰になって困るということで、一概に桜の木を欲しいというのは、住民の話の聞かないことには一方的にはできないと思いますけれど、是非市の方にお話を聞いていただいて、桜の木を補充して欲しいと思うんですが、お願いします。

《市長》

とにかく茶屋町の皆さんの桜並木にける思いがよく分かりました。私も去年4月の桜の時期に伺ったことがあります。非常に綺麗なところだと思いましたので。

《参加者⑪ Kさん》

1番言いたいことはチボリ公園の事です。残念だったんですけど。最近観光客が倉敷だけで320万と非常にありがたいです。おそらく行政の人がいろいろとPRされているだろうと思いますが、市民の皆さんの観光PRが熱心で、新たな面も必要ですけど、わざわざチボリ公園に来たのに無くなってどうなっているんだろうという声もあるんですよ。2年たったからアウトレットのいい店と公園が出来ますから、来てくださいと言うんです。

茶屋町地区に直接関係ないんですけど、倉敷市全体でとると、岡山県の活性化にもなるし、倉敷の知名度が非常に上がるので力を入れられてるとは思いますが、ますます市長のPRをよろしくお願いします。

次に、先日我が家に市役所の方から電話がありました。私が朝顔とゴーヤの件でレポートを出していたので、その件で面談をしたいのでお邪魔してもよろしいでしょうかというお電話でした。

市長はご存知かもしれませんが、その時三菱の電気自動車で来られたんです。あれは音がしないので、前進の時は分かると思いますが、バックの時は小さな子どもは危ないと思うんです。行政もブザーとつけるなどの指示をすると思うんですけど、事故がおきないように気をつけていただきたいと思います。それから、グリーンメイトの件は非常に分かりづらいと思うので、PRをよろしくお願いします。

《市長》

チボリ公園の跡地は、新聞でイトーヨーカドーさんが来られると知っていただいていると思います。駅に行かれたら、随分工事をしていて壊している感じを受けられるかもしれませんが、木、緑はなるべく残してもらおうとクラボウさんも了承してくださっているので、木に関しては多くは残っている状況だと思っています。それから、倉敷用水をいい形で緑道公園のように、皆さんが歩いたり、散歩できるような公園にと思っていますので、

いい公園ができるようにがんばりたいと思います。

それから、イトーヨーカドーさんをお願いして、倉敷市内各地区のPRや情報発信をしようと思っています。茶屋町地区については、磯崎眠亀記念館などは有力な観光地になるのではと思いますので、さっき言ってくださった表示の面も含めてしっかり進めていきたいと思っています。

最後、グリーンメイトは、倉敷の市民の皆さんで、夏にゴーヤや朝顔の種を家で植えていただいて、二酸化炭素削減に力を入れていただける方を募集しています。応募していただければ倉敷市役所から種の配布や取り組みを市役所の広報紙や講演会などで発表していただいたり、皆さんに広げていけるものになりたいと思っていますので、ぜひ関心のある皆さんは市役所のコールセンター、事務局、情報発信課などにお問い合わせをいただければと思っていますので、よろしくお願いします。

《参加者⑫ Lさん》

チボリは、倉敷市は100億ぐらい投資していると思うんですが。県知事がもやもやにしたことは何か謝りがあったんですか。もっと強くこのまま倉敷市に譲ってくれという気持ちが出てこなかったかなと。

《市長》

岡山県は投資していますが、倉敷市はそんなに投資していません。市で最初に出資したお金は6パーセントか7パーセントぐらいしか戻ってきてはいないんです。ただ県としては知事から申し訳ありませんでしたと倉敷市議会に市民の皆さんへと一応ありました。土地はクラボウさんの土地なので市へ譲ってもらえなかったんですが、今後市の行政に対して協力してくれたらと思っています。

《参加者⑬ Mさん》

用水に水が無いのはどうしてですか。雨が降れば雨水が川に流れるから、少しは綺麗ですが雨が降らなかつたら本当に泥水です。なぜ稲が終わると水を落とすんですか。

《市長》

用水の管理はそれぞれの地区の委員の皆さんをお願いをしています。

田んぼの面積とこれまでの水の配分が少し昔と条件が変わっているのかもしれないんですが、また水が流れなくてお困りの点があったら、場所について教えてください。

基本的に田んぼ用の水でありますので、時期によって水を流す流さないというのが決まっているはずですよ。

《参加者⑭ Nさん》

お答えはいいので、お願いだけ2件申し上げます。私は市街地です。毎日用水の側を通るんですけども、何年かすでに川ざらえが出来ていなくて、ヘドロがどんどん積もっていつております。近くを用水の汐入川が通って底干から出てくる場所なんですけど、これからもまだまだヘドロがどんどん積もっていくのではと気になっています。これがひとつ。

もう1つは、小学校が、倉敷で今1番小学校の児童数が多いと聞いていますが、大高小学校が分離したようなそれは難しいと思いますが、大規模校対策が考えていただけている

のだらうと思いますが、地域の子どもたちの生活、非行問題にも関係が出てきますので、大規模校になっていることの問題にも注目していただけたらと思っております。

《市長》

用水については、水利委員さんとしっかり協力をしていきたいと思ひますし、大規模校については茶屋町で分離というのは難しいかもしれませんが、大規模校になるに従っての対応は必要になってくると思ひるので、しっかりやっていきたいと思ひます。

時間も過ぎてしまひましたが、1時間半、遅い時間まで皆さんいろいろ教えていただきましてありがとうございました。

この中で、全部できるかどうか分かりませんが、市民の皆さん方の関心の高い点がよく分かりましたので、これからの市政に対しまして、しっかり反映していけるように努力してまいります。長時間にわたりまして、ありがとうございました。